

令和6年度豊かなむらづくり全国表彰事業（北陸ブロック）

北陸農政局長賞

丸岡そば振興協議会（福井県坂井市）

～そばの生産振興とそば文化の継承を共に進める地域づくり～

◆背景

本協議会は福井県北部にある坂井市に位置し、坂井市東部の丸岡町を中心に活動している。丸岡町は、稲作農業を基本としていたが、年々米価が低下し、米の生産調整を余儀なくされ、稲作農業の衰退が町の活気を奪っていった。そうした状況で、丸岡町のJA青壮年部のメンバーや中核農家が、昔から同町で栽培されていたそばに注目し、そばの作付拡大と地域振興への思いを関係機関に訴え続けた。これを契機に、平成13年に「丸岡そば振興協議会」を設立し、更なるそばの生産振興と販売促進、そば打ち文化の伝承等を目的として活動することとなった。

丸岡そば
振興協議会



◆取組概要

協議会では、そばの生産振興により安定した収穫量の確保を目指しており、通常よりも早く玄そばを刈り取り、色、風味、食味が良い「早刈りそば」や、そば殻を剥いた「丸抜き」など、他産地と競合しないよう差別化に取り組み、実需者の要望に応じた出荷形態によって販路開拓を行うことにより、地域ブランド「丸岡そば」の構築につなげている。

協議会が主催する「そば打ち段位認定会」や「そばの里丸岡新そばまつり」などのイベントには、多くの女性や高齢者、高校生などが参加し、そば打ち人口の拡大、丸岡そばの消費拡大とそば打ちを通じた地域コミュニティの活性化に貢献している。

協議会に参画している、そばの情報発信基地「一筆啓上茶屋」は、丸岡城に隣接し、観光客に丸岡産「越前おろしそば」を提供するなど、地域ブランド「丸岡そば」のPRと交流人口の拡大につなげる観光拠点の場となっている。

協議会の構成員は、JA青壮年部、高校生、市役所や農業団体の職員にそば打ち技術の指導を行い、幅広い世代へのそば打ち文化の継承に取り組んでおり、中でも全国高校生そば打ち選手権に出場した地元高校生が入賞するなど、そば打ち文化継承と後継者育成の取組の成果を残している。

◆写真で見る団体の取組



他産地と差別化を図った「早刈りそば」



そば打ち文化の伝承（段位認定会）



賑わう「そばの里丸岡新そばまつり」



そばの情報発信基地「一筆啓上茶屋」



越前おろしそば



そば打ちの後継者育成（全国大会入賞）